情報科学アルゴリズムと電子システム設計

演習2-1報告書

2015.10.30

B3 11223344 工科大太郎

レポート／報告書の書き方

1.はじめに

 これから，レポート／報告書を作成する注意点を述べる．タイトルや見出しはゴシック体フォントを用い1段組で書く．本文は明朝体フォントを用い2段組で作成する．「はじめに」でこれから述べることがらの概要について書く．「おわりに」では全体をまとめ，結論を書く．2ページ以上書いても構わないが、その場合はページ番号を入れる．3年生はB3，4年生はB4，修士1年生はM1，修士2年生はM2，博士課程1年生はD1以下D2，D3として，右上に学籍番号と名前と共に記述すること．

 2.採点方法

 レポートおよび報告書の採点方法について述べる．まず，全体の内容を確認する前に，以下3章以降の項目での減点を確認する．次に内容の正確さから100点満点で採点し，各減点項目を差し引く形式で行う．各自は減点されないように本様式を正確に守って記述すること．また，このサンプルを改変・編集して作成することを推奨する．

3.オリジナルタイトル

 報告書には内容を表現するオリジナルタイトルをつける．このタイトルは，述べたい事柄を簡潔に書く．日本語フォントはゴシック，英数字はtimesを使う．指定と違った書式で書いた場合は、20点減点とする．

4.本文

文中内で簡単な数式や変数などを紹介する場合は，斜体にすること． 例： a = a + 1 では無く，*a* = *a* + 1と記述する．数式変数はTimes New Romanフォントで斜体とする．それ以外で書いた数式は数式とは認めない．ベクトルや集合は，Times New Roman斜体の**太字(ボールド)**で表記する．
例：***A***=(3,4)

指定と違った書式で書いた場合は、20点減点とする．

•日本語論文タイトル14 pt程度，ゴシック系フォント）

•英語論文タイトル（12 pt程度，times系フォント）

•日本語著者名と所属（10 pt程度，明朝系フォント）

•英語著者名と所属（9 pt程度，times系フォント）

•英文アブストラクト（9 pt程度，times系フォント）

•英語キーワード（9 pt程度，times系フォント）

•日本語論文本文（10 pt程度，明朝系フォント）

•英語論文本文（10 pt程度，times系フォント）

•コンピュータプログラム，HDL設計のソースファイルの一部や疑似コード(10 pt程度，Courier New系フォント)

5.表

 表には，必ず表番号とタイトル(キャプション)を付ける．表番号タイトルは，表の上につけること．タイトルを書いてない場合は、20点減点とする．データの読み間違いが無いように小数点以下の桁数はそろえること．表1の例では，小数点以下5桁にそろえている．

|  |
| --- |
| 表 1 Example of a table |
|  | Label 1 | Label 2 | Label 3 | Label 4 | Label 5 |
| Item1Item2 | 0.000000.00259 | 0.001530.01506 | 0.002240.01424 | 0.017880.02541 | 0.017650.02447 |

6.図

　図にも図番号とタイトル(キャプション)を付けること．図の場合は図の下につける．タイトルを書いてない場合は、20点減点とする．図1参照．



図. 1 Example of a figure

7.数式

　数式については，下記のように中央寄せとします．本文中での引用は，「式(1)では，．．．」のように書く．式はMicrosoft 数式3.0を使うこと．[挿入]⇒[オブジェクト]から選択できる．式番号は右揃え，数式はイコールで揃える．それ以外で書いた数式は数式とは認めず、20点減点とする．数式番号を省略した場合も同様に減点する．

 (1)

 (2)

8.引用

 　参考文献を引用する時は，参考文献の番号を文中に記述する．[ ]鍵カッコで囲み文献番号を記述すること[1][2]．

参考文献を書く時は，著者名，タイトル，論文誌名，ページ番号の順番で記述すること．書籍の場合はページ番号も前に出版社名を記述する．１頁の場合は” p.\*\* ”となり，複数ページの場合は” pp.\*\*-?? ”となる．一般書籍，学術論文，電子ジャーナル論文以外のインターネットのホームページと用いた場合は，100点減点とする．

参考文献

[1] 著者名，“論文タイトル”，雑誌名，vol. \*\*, no. \*\*, pp. \*\*--\*\*, 年.

Author Name, “Title of the paper,” Name of Journal or Transaction, vol. \*\*, no. \*\*, pp. \*\*--\*\*, Year.

[2] Author Name and Author Name, “Title of the paper,” Name of Proceedings, Year, pp. \*\*--\*\*.

Author Name and Author Name, Title of a Book, Publisher Name, Year, pp. \*\*--\*\*.

問い合わせ先

高知工科大学 ○○学群 ○○専攻

3年生 11223344 工科大太郎

内容を吟味する前に文書フォーマットにあってないといけません．工学系分野の報告書は最終的に卒業論文，修士論文，学術論文の土台となります．したがって，所定の書式に準拠して読むことになります．「学術論文フォーマット」でインターネット検索してみてください．

https://www.google.co.jp/search?q=%E5%AD%A6%E8%A1%93%E8%AB%96%E6%96%87%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%88&oq=%E5%AD%A6%E8%A1%93%E8%AB%96%E6%96%87%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%88&aqs=chrome..69i57.2060j0j9&sourceid=chrome&es\_sm=122&ie=UTF-8